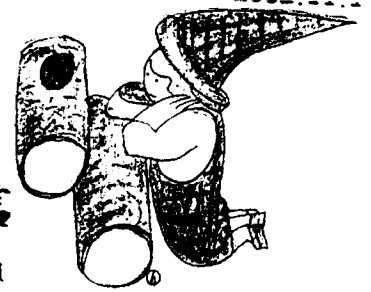




リサナメント * TAKARAZUKA 通信

NO.1



dig. 昨年春、地域の医療を目指すいまい内科クリニックの今井先生のご支援をいただいて、小さな茶話会が始まりました。一步一步と積み重ねて6回、どの回も心に残るちょっとしたものを参加者のみなさまに持って帰っていただけたかなと思っております。

その歩みの足跡がそのまま風に吹かれて消えてしまうのはモッタイナイとの思いから、このたび、小さな通信を発行することにいたしました。すでにこの会をご存じの方もまだご存じない方もお手にとって読んでいただければうれしいことです。

リサナメントとは。。

「改造」「病を治して健康にする」という意味が含まれています。肉体も精神も含めた癒しをめざして名づけました。その言葉の響きのよさも気に入っています。

●●リサナメント・たからづか第1回の案内文ヨリ

長生きの時代になりました。ご近所で皆、健康でありたい。安心して暮らしてゆきたい。そのための工夫は「血縁」や「地縁」に代わってお互いを知り合う「知縁」や共に智慧をしぼる「智縁」の結び合いではないかと考えます。この会がまた新たなご近所づきあいの始まりのきっかけとなればと発足いたしました。

.....

今までの歩み (6つの足跡)

第1回	茶話会	2001.3.24	「あなたの医療費」	今井信行先生
第2回	茶話会	7.14	「糖尿病と食事」	今井信行先生と栄養士さん
第3回	茶話会	11.10	「骨粗鬆症」	今井信行先生
第4回	音楽会	12.22	「小さなクリスマス・コンサート」	声楽家 時田直也氏
第5回	野遊び	2002.4.28	「丹波の山里を歩いて」	龍蔵寺 上阪法山師
第6回	茶話会	7.6	「生きる」	鳥越憲三郎先生

春夏秋冬各季節に1度のペースの、ゆったりとした集まりです。縛り合わない絆、ゆるやかな連帯、「互いが程の良い距離を工夫しつつ、つながる」という気持ちをモットーに続けていこうと思っています。どうぞ「この指とまれ」の軽やかなお心でご参加くださることを望んでいます。。。。

●●次回第7回は●●●

2002年11月30日(土)午後3:00~

@いまい内科クリニック待合室 (tel☆0797-76-5177)

茶話会 『睡眠について』 今井信行先生

惰眠ではない、良い眠りについてのアドバイス
楽しみですね。

季節の句

残暑厳しい9月10月でしたが、十三夜を過ぎてからヒヤリと心地よい空気が肌にふれるようになりました。紅葉もうすすと始まりました。

「秋深き隣は何をする人ぞ」松尾芭蕉のこの句、単純なのぞき趣味のイメージが使われたりもしていますが、その本質はひやひやとした季節の中の人を恋う気持ちではないかと思えます。程良い距離を隔てて人のいる気配。そのぬくもりをともなった安心感。名句と思えます。(Y.I.)



世話人 山林 石原